

第3学年3組 保健体育科 学習指導案

期 日：平成29年11月22日（水）公開授業②

場 所：熊本市立力合中学校 武道場

対 象：熊本市立力合中学校38人

指導者：教諭 米田 創一朗

1 単元名 体育理論(文化としてのスポーツの意義)

2 単元について

(1) 単元観

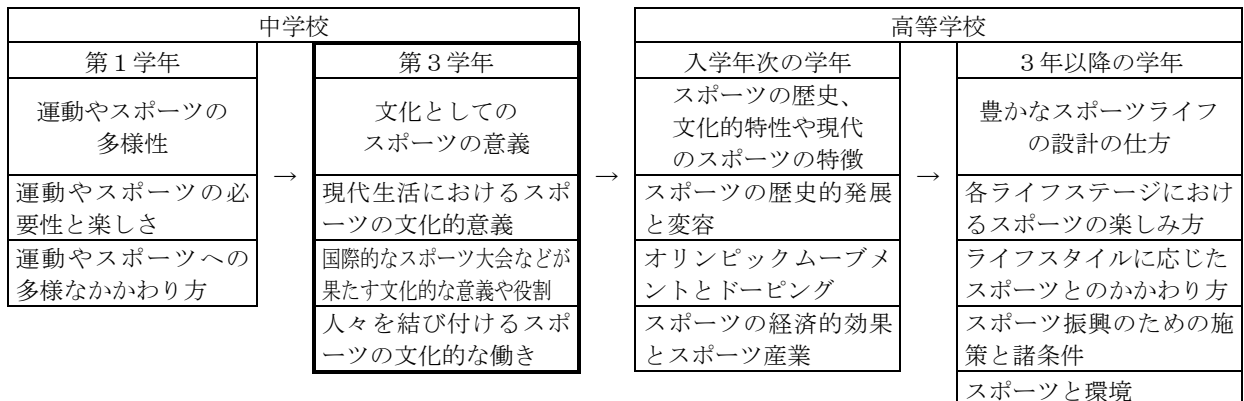
本単元は、保健体育科の目標にある「運動や健康・安全についての理解」を目指して、中学校学習指導要領保健体育第3学年の内容H（1）「文化としてのスポーツの意義について理解できるようにする」ことを学習する。

スポーツが人々の生活や人生を豊かにするかけがえのない文化となっていること、また、そのような文化としてのスポーツが世界中に広まっていることによって、現代生活のなかで重要な役割を果たしていることから、現代生活においてスポーツの文化的意義が高まってきていること、国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な役割が重要になってきていること、文化としてのスポーツが人々を結び付ける重要な役割を担ってきていることを学習する。

校区内がコースになっている熊本城マラソン大会、2019年に本県で開催されるラグビーワールドカップや女子ハンドボール世界選手権大会、2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会など、身近に又は近い将来開催される国際的なスポーツ大会を学習内容として取り扱うことや「する・みる・支える・知る」の多様なかかわり方の視点に立った（体育における「見方・考え方」を働かせながら）生徒同士の協働的な学習を展開することによって、言語活動が充実し、主体的・対話的で深い学びが行われるようにする。

また、本単元の学習は、自分自身のスポーツとのかかわり方について考えることにもなり、保健体育科の目標である「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力」を高め、「明るく豊かな生活を営む態度」を育むことにもつながると考える。

(2) 系統観



(3) 生徒の実態

生徒38人(男子19人、女子19人)に、国際的なスポーツ大会の代表格であるオリンピック・パラリンピック大会と本県で開催されるラグビーワールドカップや女子ハンドボール世界選手権大会についてアンケート調査を行った。(表1参照)

オリンピック・パラリンピック大会に関しては、興味・関心は高いが、国際親善や世界平和に大きな役割を担っているという認識は低いと考えられる。

本県で開催されるラグビー大会やハンドボール大会に関しては、開催自体を知らない生徒がいたり、知ってはいるが興味・関心は低い生徒が多かったりという状況であった。

【表1】生徒のアンケート調査結果

オリンピック・パラリンピック大会について
興味がある…90%
見に行きたい…81%
大会の趣旨や目的を知っている…0%
ラグビーワールドカップやハンドボール女子世界選手権大会について
開催されることを知っている…68%
見に行きたい…8%

(4) 指導にあたって

指導にあたっては、次の点に留意する。

○ 研究テーマとの関連について

基礎的・基本的な知識の確実な定着を図るために、生徒の実態(知識の定着等)を把握しながら学習を進めていきたい。また、協働的な学習活動の質を高めるため、「本当にそうなのか」という批判的思考を働かせながら課題解決活動ができるように、発問を工夫していきたい。

○ 課題設定の工夫について

生徒の主体的な学びを引き出すためには、課題設定の場を工夫することが重要である。学習テーマに関する映像を視聴することによって、生徒の自発的な課題設定を促すようにしたい。自発的な課題設定は、その後の課題解決活動や学習の振り返りにおける生徒の主体性を高めることが期待できる。

○ 学習活動の工夫について

課題解決活動では、「個人思考」「班内交流」「班外交流」の場を設定し、個人の考えをもとに協働的な学習が展開できるようにしたい。班交流の学習活動では、思考力・判断力・表現力を広げ深めるため、様々な技法を活用し工夫をすることで、協働的な学習活動を活発化させたい。そして、協働的な学習の後に再び「個人思考」の場を設定し、自分の考えや意見を再構築させたい。このような活動の流れを作り出すことによって、主体的・対話的で深い学びにつなげたい。

○ 人権教育の視点について

話合いの進め方やルールを徹底し、全ての生徒が安心して学習に参加できる雰囲気をつくりたい。そして、仲間との学習が互いに支えられていることを実感させることで、互いに認め合うことができるようにしたい。これらの経験によって、生徒の自己有用感や自己肯定感を高めていきたい。

また、基礎的環境整備として、授業のユニバーサルデザインを推進する。学習課題や教師の発問・指示等が常に確認できるような視覚的な情報を掲示したり、学習活動の展開や内容、方法が分かるようなワークシートを使用したりして、生徒が学習しやすい環境を整えたい。

3 単元の目標

- (1) 文化としてのスポーツの意義について、学習に自主的に取り組むことができるようにする。(関心・意欲・態度)
- (2) 文化としてのスポーツの意義について理解し、よりよく生活するための自分の課題に応じて、スポーツとのかかわり方を工夫できるようにする。(知識、思考・判断)

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
①文化としてのスポーツの意義について、意見を交換したり、自分の考えを発表したりするなどの活動を通して、学習に自主的に取り組もうとしている。	①文化としてのスポーツの意義について、必要な情報を比較したり、分析したりしてまとめた考えを説明している。	①現代社会におけるスポーツの文化的意義について、言ったり書き出したりしている。 ②国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な意義や役割について、言ったり書きだしたりしている。 ③人々が結び付けるスポーツの文化的な働きについて、言ったり書き出したりしている。

5 単元の指導と評価計画

	1	2 (本時)	3
学習内容	現代生活におけるスポーツの文化的意義 ・スポーツには、健やかな心身、豊かな交流や自己開発の機会を提供する重要な文化的意義があること ・スポーツが尊重される文化として捉えられ、国内外で進行されていること	国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な意義や役割 ・スポーツには、様々な国際大会があり、それらは国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること ・現代社会において、国際的なスポーツ大会の国際親善や世界平和に果たす役割は大きくなってきていること	人々を結び付けるスポーツの文化的な働き ・スポーツには、民族や国、人種や性、障がいの違いを超えて人々を結び付ける働きがあること ・スポーツには、様々な違いを超える可能性があること
関心意欲態度	① 観察・ノート		
思考判断			① 観察・ノート
知識・理解	① 観察・ノート	② 観察・ノート	③ 観察・ノート

6 本時の学習（本時 2 / 3）

(1) 目標

スポーツには、様々な国際大会があり、それらは国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解する。【知識・理解】

(2) 展開

過程	時間	学習内容	指導上の留意点・評価	備考
導入	7	1 東京 2020 国際招致 PR の映像を見る。	・本時はどのような学習活動をするのか意見を交流させ、学習活動に対する興味・関心を深める。	映像
展開	35	2 本時の課題を確認する。 なぜオリンピック・パラリンピック大会が開かれるのだろう	・課題を提示する。	資料 ワークシート
		3 課題に取り組む。 (1) 資料を基に、なぜオリンピック・パラリンピック大会が開かれるのだろうか？(課題)について考える。 【個人思考】 ↓ 【班内交流】 ↓ 【班外交流】 (2) 課題について、もう一度班で考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒はオリンピック・パラリンピックについて、事前に調べ学習した資料を提示する。 ・オリンピック・パラリンピックについての資料を示す。 ・資料を根拠として考えるように促す。 ・一人で考える時間を十分に確保する。 ・班内の全員が発表できる時間を確保する。 ・班外交流での意見や考えをまとめ発表する。また視覚的に分かりやすく示す。 ・「国際大会開催時にはテロや事件も発生しているけど…」など、「批判」的な言葉かけによって思考の再構築を促す。 ・再構築された意見や考えを交流し、考えをまとめさせる。 ・多様な情報を全世界に発信するメディアの重要性についても触れる。 	
まとめ	8	4 学習のまとめをする。 (1) 教師の話聞く。 (2) ワークシートにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・世界平和、国際親善、相互理解などのスポーツの魅力や意義・役割について確認する。 ・ワークシートに自分の考えを自分の言葉でまとめる。 	ワークシート
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価】②知識・理解 スポーツの国際大会は、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることについて、自分の言葉で具体的に表現している。</p> </div>		